

# 「採血管種の違いが測定値に及ぼす影響の解析」に対する ご協力をお願い

研究責任者 松下 弘道  
研究機関名 慶應義塾大学医学部  
(所属) 臨床検査医学

このたび当院では上記の医学系研究を、慶應義塾大学医学部倫理委員会の承認ならびに研究機関の長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施します。

今回の研究では、同意取得が困難な対象となる患者さんへ向けて、情報を公開しております。なおこの研究を実施することによる、患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。

本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨を「8 お問い合わせ」に示しました連絡先までお申し出下さいますようお願いいたします。

## 1 対象となる方

2019年12月1日より2027年12月31日までの間に、診療目的で臨床検査を実施した患者さんが対象となります。ただし、遺伝学的検査（生殖細胞系列遺伝子検査）は本研究では対象ではありません。また、当院における診療情報活用について、不同意文書を提出された方を除きます。

## 2 研究課題名

承認番号 20231189

研究課題名 採血管種の違いが測定値に及ぼす影響の解析

## 3 研究組織

研究機関

研究責任者

慶應義塾大学医学部・慶應義塾大学病院 教授 松下 弘道

## 4 本研究の目的、方法

臨床検査では、測定する項目の原理・特性に応じて採血管を使い分けています。このため、採血時には様々な種類の採血管による採血が実施されます。患者さんの容態に応じて、担当医より追加検査が依頼される場合がありますが、追加検査項目用の採血管で採血されていない場合は、追加検査が実施できず、再度採血する必要があります。しかし、原理上別の採血管でも追加検査が出来る場合があると考えられ、これらを明らかにすることは患者さんのメリットに繋がると考えられます。

本研究では、異なる採血管で同じ項目を測定した場合に、その測定値に差があるかを確認する事が目的です。

## 5 協力をお願いする内容

2 種類以上の採血管が利用して採血された患者さんが対象です。これらの採血管の両方に残余試料がある場合、これらの残余試料を用いて同じ項目を測定し、採血管間での差異を検証します。その詳細な解析のために、検査結果のほか、測定機器から得られる反応過程の情報、年齢、性別、基礎疾患、基礎疾患、治療データ、検査データなどの検査結果に影響を与える情報を電子カルテから取得することがあります。

## 6 本研究の実施期間

研究実施許可日 ~ 2028 年 03 月 31 日

## 7 外部への試料・情報の提供

外部委託検査会社に検体の精査を依頼する場合があります。ただし、検体を引き渡す際には匿名化された状態で引き渡しを実施します。患者さんに関する情報を外部に提供することはありません。

## 8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

また本研究の対象となる方またはその代理人（ご本人より本研究に関する委任を受けた方など）より、試料・情報の利用や他の研究機関への提供の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合も下記へのご連絡をお願いいたします。

慶應義塾大学医学部臨床検査医学 松下弘道（研究責任者）

E-mail: hirommat@keio.jp

直通電話：03-5363-3602

以上